

# 戦 評 用 紙

関東バスケットボール埼玉県予選会

平成26年5月17日

会場 越谷市総合体育館 第4試合

	23	_____	13	
対 戦	15	_____	17	
	正智深谷高校		川口北高校	
	16	_____	12	
	75		63	
	19	_____	21	

第1P、両チーム共にマンツーマンディフェンスでスタートする。先手を取ったのは正智深谷。#7のインサイド、#8のスリーポイントでリードする。対する川口北は得意とするミドルシュートがなかなか決まらず苦しむが、#11、#13のジャンプシュートでなんとかつなぐ。正智深谷は内外バランス良く攻め、10点リードで第1Pを終了する。

第2P、川口北は#4のミドルシュート、ドライブインからのシュートが決まりリズムに乗る。正智深谷は第1Pのような攻撃ができなくなり川口北ペースで試合は進行し、点差が詰まる。得点できなかった正智深谷であったが、ペネトレイトからのアシストがゴール下の#4、#7に渡り得点しリードを保つ。

第3P、川口北の#11、#10のミドルシュート、レイアップシュートが決まり、流れを引き寄せ、点差を詰める。いやなムードが続く正智深谷は#4のジャンプシュート、#15の3Pシュートが決まり、落ち着きを取り戻し、再度リードを拡げる。

第4P、正智深谷が出だしにミスを連発する。それを川口北は見逃さず#6、#11のアーリーからのレイアップシュートで追い上げる。残り4分、川口北#4の3Pシュートが決まり3点差になったところで、正智深谷はタイムアウトをとる。タイムアウト後、正智深谷はディフェンスから速攻に転ずる本来の流れに戻り、#8、#9のレイアップシュートで川口北を突き放す。川口北は最後まで粘りを見せるが、逆転するには及ばない。正智深谷は地力を見せつけ、新人戦に続く優勝を決めた。

(記録者： 祐木 毅 )